



135B

プロフェッショナル日本語

2019年 冬学期

クラスポートフォリオ

子供の貧困

就活生の悩み

レッツ・言語

子供の貧困	3
メンバー紹介	3
プロジェクトのトピック	3
プロジェクトのリサーチ	3
プロジェクトゴールと目標	4
今学期の活動準備と活動内容	4
ビデオチャット・電話インタビューの進行	4
活動の結果	5
感想	6
就活生の悩み	8
メンバー紹介	8
グループのリサーチトピック	8
社会問題の説明	8
プロジェクトアイディア	9
イベントでの活動報告	9
<i>PageOneのイベントへの参加</i>	
アンケート調査	
イベント写真	10
イベントに参加した感想／学んだこと	11
Let's Gengo 「レッツ・言語」	12
メンバー紹介	12
プロジェクトの背景	12
プロジェクトのリサーチ	13
プロジェクトゴールと目標	13
活動内容	14
参加者の感想	14
イベント写真	15
使った資料の写真	15
感想	16
おわりに	18
クラスの様子	18

子供の貧困

メンバー紹介

			
オイ・ウオング	ダニエル・タン	デレック・シェ	アプルワ・シュクラ ラー
4年生	3年生	3年生	3年生
コミュニケーション	コンピュータ科学	コンピュータ科学	認知科学

プロジェクトのトピック

私たちのプロジェクトのトピックは「子供の貧困」だ。秋学期の研究によると、貧困の結果の一つは自己肯定感が下がってしまうことだ。それは貧困の状態です。「今自分が何もできないから、将来にも何もできない」と心の貧困にもつながってしまう可能性が高いからだ。私たちのプロジェクトは貧困そのものの問題を解決はできないが、子供たちに「やればできる」というメッセージを伝えて、希望を与えることはできる。そのメッセージを伝えるために絵本を作ることに決めた。

プロジェクトの研究

日本の子供の7人に1人は貧困状態になっているようだ。影響として自己肯定感の低下があると書いたが、自己肯定感が低下すると子供はある種のストレスを抱えたまま成長する。その結果、子供の未来にも影響を与え貧困の連鎖を断ち切れなく、抜け出せなくなってしまう。貧困に対して、私たちは「こども宅食」と「子供の未来応援プロジェクト」という2つの対策を見つけた。この2つの対策例は食料と学習の支援プログラムで貧困層の家庭を助けられるが、私たち学生にはそういう規模のプロジェクトは不可能であるためプロジェクトの方向性に悩んだ。

プロジェクトゴールと目標

私たちの力では貧困そのものを解決できないけど、貧困の影響の1つの自己肯定感を上げることにはできるかもしれない。そして、日本に起こっている貧困に対する意識を高めたいと思う。私たちの目標は自己肯定感をテーマにした絵本を作り、子供にも大人にもわかりやすく自己肯定感というコンセプトを伝え、その自己肯定感の重要さを伝えることだ。絵本は親御さんから子供まで楽しめるものなので、絵本作りは私たちのゴールを達成するためにいいアイデアだと思う。

今学期の活動準備と活動内容

冬学期の活動のゴールは日本の小学生か中学生をインタビューすることだった。初めに埼玉県にある小学校に連絡した。そちらの生徒（小学5-6年生）とインタビューがしたいとお願いしたが、スケジュールの関係で出来なかった。その後秋田県のSTUDY HOUSEという塾の中学生8人とインタビューをさせてもらう事になり、2月15日の午後3時（日本の朝8時）にビデオチャットでインタビューを行うことが決まった。その後インタビューでどのような質問を聞くかGoogle docsで書き、どんな風に行くかを話し合った。インタビューの当日、午後3時に武田先生のオフィスに集まり、インタビューを行った。アプルワとダニエルは話す係、オイはノートを取る係だった。一回目のインタビューのあと、サンフランシスコの補修校の小学3年生と5年生に連絡をとって、二回目のインタビューを行なった。

ビデオチャット・電話インタビューの進行

最初のビデオチャットは40分ぐらいかかった。私たちはSTUDY HOUSEの皆さんと英語で会話をしてから、事前に用意した質問を聞いた。私たちの質問を答えるために、皆さんは一つのiPadを回しながら一人ずつ答えていた。みなさんは答えるとき、英語の会話練習もしたかったのでがんばって英語を使って答えてくれた。インタビューのあと、私たちはグループ内で反省会を行なって、次のインタビューに備えた。それから、二回目のインタビューはサンフランシスコにある補修校の小学生と3月1日と3月4日に電話でインタビューを行った。私たちは全員このインタビューに参加できなかったが、アプルワのおかげで対象者に用意した質問が聞け、絵本の内容に役に立つ資料を集めた。

活動の結果

インタビューで聞いた質問:

1. 皆の将来の夢は何ですか。
2. 何かに失敗してもものすごく落ち込んだ時、どうやって立ち直りますか。
3. 特に好きな本や映画は何ですか。

時間が限られていたため、この3つの質問しか聞くことができなかったが、絵本の作成に使える情報を得た。反省会では、次回またインタビューを行うことができれば、まず私達が絵本を作っていることを紹介してから質問を聞くことにした。また、時間を節約するためにアンケートも予め用意してインタビュー中に配ることが大事だと判断した。

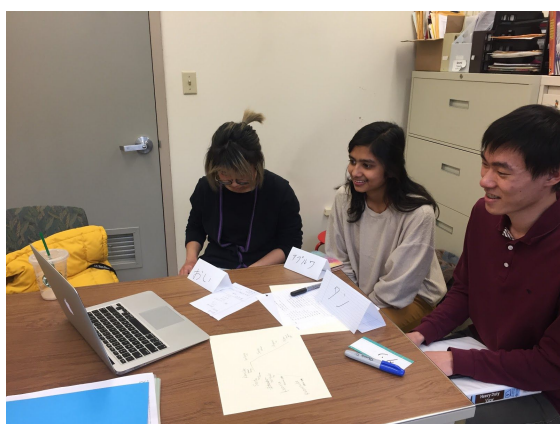
一回目のインタビューの写真



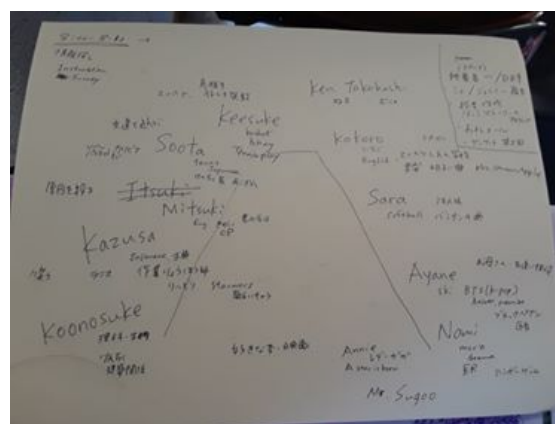
インタビューの時スクリーンに出た3人の様子



インタビューの時の相手の様子



インタビューの時の3人の様子



インタビューのノート：学生の名前や趣味などが載ってる

感想

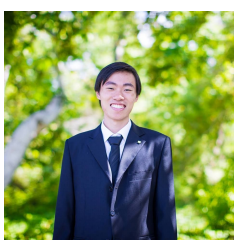
活動について：

インタビューのために用意したアクティビティーと質問が予定通りできなかったが、受験生たちと英語で会話し少し仲良くなれ、また学校や将来の夢について尋ね中学生の興味を知ることができてとても楽しかった。



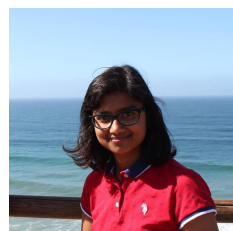
私は日本語135Bを取り始めた時、プロジェクトの方向はどこへ向かってるか心配しました。私たちのゴールは広すぎて、どうやって達成するかわかりませんでした。でも、先生のおかげでゴールの焦点を絞り、絵本を作るように決めて、安心しました。
(デレック・シェ)

私たちのグループは一番小さいグループですが、そのおかげでメンバーの間のコミュニケーションとディスカッションがしやすくなったと思います。また、私たちのプロジェクトは絵本を作ることをゴールとしたので、結構斬新なアイデアだと思います。もし、来学期このプロジェクトを続けられたら、絵本の完成が楽しみです。(オイ・ウォング)



子供の貧困は最初からとても研究しづらくて解決しにくい社会問題だと思っていたんですけど、今学期具体的なゴールを作ってから進むべき方向が明白になりました。インタビューの準備とタスクを通して自己肯定感が人にとって一体どれくらい大切なかがわかってきて感動しました。来学期この大切さを絵本の物語の形にしてうまく伝えることができたならとても嬉しいです。
(ダニエル・タン)

今学期の始めに色々なプロジェクトゴールのアイデアがありました。初めはなかなか一つのアイデアにまとまらず少し大変でしたが、絵本を作る事が決まった後は物事はどんどん進みました。日本の中学生やサンフランシスコの小学生をインタビューするのは緊張しましたが、とても楽しかったです。来学期は子供達が楽しんでくれる絵本を仕上げるのが楽しみです。
(アプルワ・シュクラ)



日本人大学生の就職活動によるストレス

メンバー紹介

					
ヒルダ・リュウ	陳チヨキ	ユリ・パン	笠嶋祐汰	ケン・ギント	リオン・ジェンキンス
4年生	4年生	4年生	3年生	3年生	4年生
数理・コンピューター科学/ 芸術科学	化学	認知科学/ 日本学	日本学	環境工学/ 日本学	日本学

グループのリサーチトピック

私達が選んだ社会問題のリサーチトピックはメンタルヘルスとストレスの関係だった。就職活動をしている大学生たちはたくさんのストレスを感じる。日本社会は精神衛生について、まだサポートが足りない。秋学期のリサーチからわかったことは日本人は内向的な性格の人が多く他の人に自分の悩みを相談しない傾向が強い。私たちは日本人留学生の就職ストレスについて調べ、そのストレスの解消法をサンディエゴの日本人たちに伝えたい。

社会問題の説明

日本の大学生は三年生になると就職活動を行い始める。彼らは企業の選考、説明会等に参加し、内定を得る為努力をし始めるのだ。しかし、就活の時期に彼らは不安を感じやすくなってしまふ。リクナビやインテージギャラリーの調査の結果、90%の就活生が不安やストレスを感じている事が明らかになった。ストレスが原因となり、自殺などが発生しやすくなり、日本の社会問題の一つになっているのだ。

プロジェクトアイデア

大学四年生は勉強すると同時に就職活動をしなくてはいけないので、彼らにとってストレスを上手く解消することは大切である。メンタルヘルスに関するアンケートを配り日本人の悩みやストレスの原因を調べて、春学期に効果的なプロジェクトを企画したいと考えた。例えばリクエストがあったのは「履歴書の書き方講座」で、これを行うことで就活生を少しお手伝いできるかもしれない。

イベントでの活動報告

PageOneのイベントへの参加

「PageOne」はサンディエゴの日本人大学生の就職活動をサポートする団体だ。今回のイベントではその団体が「帰国GO」という留学生の就職をサポートする団体と一緒に就職セミナーを行なった。2019年2月25日の月曜日の午後6時から8時までで日本で就職したい三年生と四年生が15人ぐらい参加した。三菱電機やジョンソンエンドジョンソンなどの日系企業の紹介があり、会社のウェブナーの日付を教えたりした。

アンケート調査

私たちのグループはそのイベント参加者を対象にアンケートを行なった。アンケートには11問あり、そのうち4問がフリーレスポンスで7問が選択肢の問題だった。選択問題では、性別、学年などの個人情報を含め、就活の時間、内容、睡眠時間などの就職活動に関連する質問をした。それに加えて就職活動とストレスの関係性を問う質問もした。例えば、仕事を得る自信、不安に思うこと、マイナスの影響などを聞いた。フリーレスポンスでは、日常生活のストレスの対処法、イベントのリクエスト、ストレス対策/解消法などを中心に活動している団体を知っているかを聞いた。

セミナーの説明によると、現在就活の準備が昔より早くなり留学生枠が存在しなくなったようだ。この変化により、就活生は不安やストレスを感じやすくなっているらしい。

セミナー後に、14人の留学生が私たちのアンケートを受けてくれた。そのアンケートの結果によると、多数の学生たちが「面接などに緊張し、疲れを感じる」と答えていた。これは日本人留学生にストレスを与える主な原因になっているとができる。また、留学生達のストレスの発散方法は様々あり、個人的にストレスを解決することは可能だということが分かった。

イベント写真



図1. 大学生就職セミナー



図2. アンケートの配布



図3. アンケートの説明

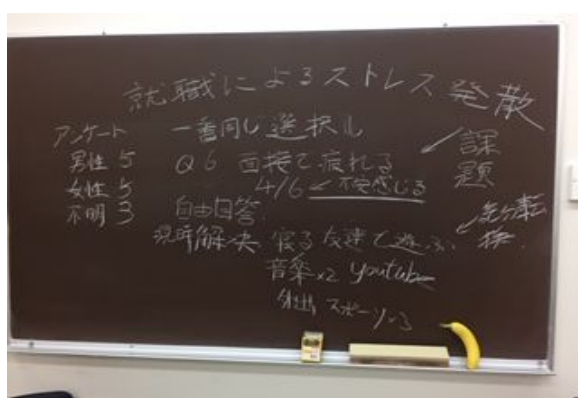


図4. グループの話し合いの記録

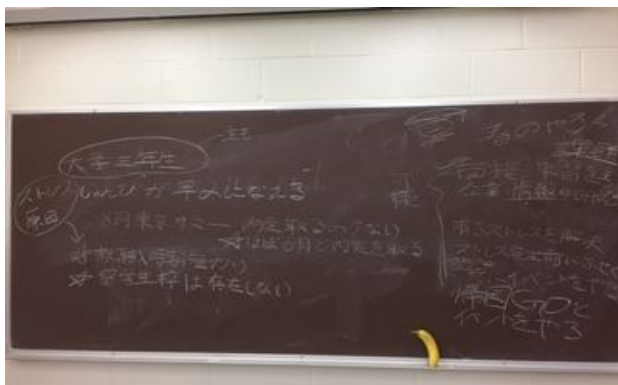


図5. グループ話し合いの記録



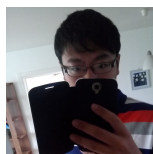
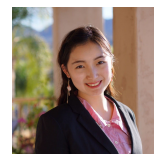
図6. 話し合い中のメンバー写真

イベントに参加した感想／学んだこと



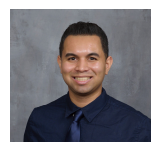
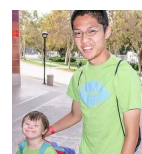
参加者はほぼ三年生でびっくりしました。日本人留学生はアメリカで日本の仕事を探すために、いろいろ不便なことがありますね。留学生なのに、会社では特別扱いされないことを今回のイベントで知りました。このストレスの原因をどうにか解決できたらいいなと思います。アメリカに住んでいる日本人にも役に立つと思います。(ヒルダ・リュウ)

帰国GOの主催者の講演の内容は非常に良かったです。講演では学生に社会人としての現状の厳しさや企業に求められる人材などについて具体的に分かりやすく話していて、留学生に関する内容もありました。私達のメイン対象者は大学三年生でした。(ユリ・パン)



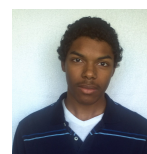
アンケートの結果、就活生がどんな事からストレスを感じ、どんな方法でストレスを発散しているのかが明らかになりました。この結果を参考とし、来学期のイベントに繋げていけるように頑張りたいと思います。(陳チョコキ)

日本の就職活動のスケジュールを聞いていたらすごく複雑だと思いました。前はルールなどがあったが、最近は会社側の学生を勧誘するための競争が激しくなり、そのルールが無視されていることになっていることを知りました。そのせいでさらに早く就活を始めないといけないことになり、就活と学校を両立するのがすごく大変だと思いました。(笠嶋祐汰)



日本で大学生たちは三年生の時から興味がある会社に対して就職準備をするので、やはりストレスは多く、それを発散する必要があります。私は日本の採用のサイクルについて学べたので、帰国GOのイベントへ行ってよかったと思います。この経験のおかげで私は就活をしている友達をもっとサポートしたいと思いました。(ケン・ギント)

日本での労働環境の厳しさが分かってきました。日本の企業は大学の新卒を好むようなので、日本人の大学生は仕事を探すことを早く始めなくてははいけません。三年生の時に勉強より就職活動を優先することによってストレスが溜まる可能性が高いようです。もちろん、日本の労働環境を変えることは無理ですが、日本人の留学生の就職活動に対する考え方が変えられれば彼らのストレスを少し減らせるかもしれません。(リオン・ジェンキンス)



Let's Gengo | 「レッツ・言語」

メンバー紹介

					
ドリーン・スー	エリザベス・パン	趙晔輝	山崎ステファニー	ヴィエット・デュオング	ジーチン・シャオ
博士課程 3年生	4年生	修士課程 1年生	4年生	1年生	3年生
社会学	文学	政策学	人間生物学、日本語	生物学	日本語
					
アイヴィ・リアン	牧野さこ	ニーナ・アセロリーブマン	ウエバー花	クリステン・ベンドルフ (たみこ)	
3年生	1年生	1年生	2年生	4年生	
構造工学	日本語	日本語	政治学	日本語	

プロジェクトの背景

国際化が深刻化したため、複数の国がお互いに経済的、文化的に大きな影響を与えている。近年、海外の企業が日本を含めた他国への進出を増やしており、日本国内の留学生や外国人労働者も増加している。日本の経済を発展させるためには、さらに他文化や語学力に優れた人材が必要だと言われている。そのため日本人自身も留学をし、その留学経験からグローバルな視点を持ち語学力を伸ばすことがとても重要である。

そこで、「レッツ言語」というプロジェクトでは日本人留学生を支援することを目的として、文化交流と言語交流を深めるだけではなく、気軽に友達ができる環境を作って、留学生をサポートすることを目指した。

「レッツ言語」のメンバー11人は人生経験や価値観がそれぞれ違うので、1つのイベントを計画することが難しいのではないかとこの恐れがあったが、日本への留学に興味を持っている人が多いので、一緒に日本人留学生をサポートするというゴールを目指すことができた。

プロジェクトのリサーチ

2008年に日本の政府は「留学生30万人計画」という目標を紹介した。この目標は2020年までに30万人の留学生を受け入れ、日本の労働環境に様々な技術と人材を含み、少子高齢化の対策の一つとして行うことである。しかし、ヒューライツ大阪によると、留学生の人数が急増しているため、日本での留学生は交流や心理的なサポートが少なく、「生きづらさ」を感じているようである。

日本政府と日本の大学が留学生の悩みを解決するために、多様な手段で留学生を支援している機関を見つけた。今NPO法人国際交流の会とよなか（TIFA）は、経済的な困難を抱える私費留学生を対象に、保証人を必要としないアパートを安価で提供している。そして日本各地の大学も留学生センターを中心にして留学生を安心させるように支援を提供している。一方で、今UCSDに留学している日本人の学生もたくさんいるが、インタビューし、日本人の学生が抱えている悩みは日本にいる留学生の悩みにと非常に似ているということがわかった。

例えば、アメリカで日本人の留学生が体験した難しいことについて、インタビューの結果ではソーシャルライフと言語についてのサポートが欲しい、英語に自信がないから、アメリカの学生と交流するのが難しい。そして、アメリカと日本の文化が違いすぎて、会話の笑いポイントがわからない。つまり、交流的なサポートがないで日本人の留学生は不安を感じ、ストレスが増えているということがわかった。

プロジェクトゴールと目標

「レッツ言語」というパートナーシステムを通じて、日本からUCSDに留学している学生のためのサポートネットワークを作る。留学生とUCSDの学生のソーシャルイベントを企画し、留学生をUCSDで日本語を勉強している学生とパートナーを組む機会を作ることが目的だった。

UCSDは大きい大学なので、留学生は授業やアメリカでの生活に対する不安がある。UCSD学生にとっても、キャンパスでは社会生活や友達付き合いが難しいという声を多々聞くので、留学生にも難しい可能性がある。日本からの留学生はこの様なプログラムを使用し、もっとUCSDの環境に慣れたり、英語を練習したり、アメリカの文化を習ったりすることができる。レッツ言語は、もっと日本語を練習する機会を探しているUCSDの学生たちも参加した。

日本からの留学生と日本語を勉強している大学生をマッチングする特徴があるので、日本学部のプログラムとして提供する可能性がある。また、マッチした留学生とUCSDの学生が自由に会ったり連絡を取ることも可能だ。このように、レッツ言語を通して出会ったパートナーは、留学中、信頼できる友達と出会える可能性がある。留学生が安心してUCSDで生活できるよう、このプロジェクトを実現したいと思った。

活動内容

レッツ言語プロジェクトは日本人留学生とローカル（UCSD）の学生たちをマッチングして、文化や言語の交流を促すきっかけを作ることを目的と決めた。参加者の人数は、日本人留学生は19人で、UCSDローカル学生は7人であった。

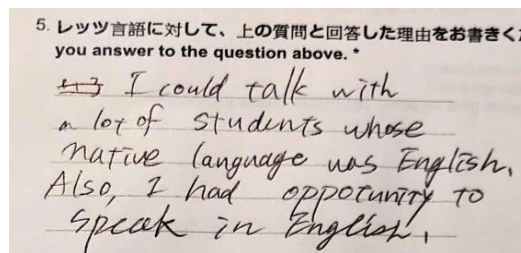
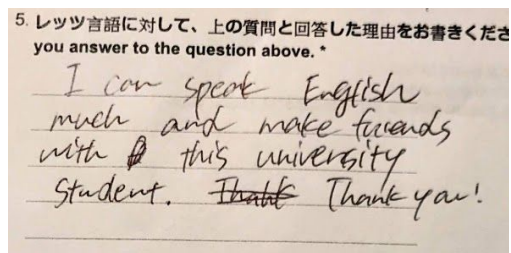
まず、多数の参加者のニーズに合わせたマッチングをするために、事前にアンケートを行った。アンケート結果で参加者の趣味と日本語・英語のレベルを確認して、参加者全員がなるべく日本語と英語両方で楽しく会話ができるようにマッチングした。イベントでウォークインの参加者もいたが、その学生たちもグループディスカッションに入った。

社交性が高くても初めて会う人の前では気まずくなる可能性があるので、もっと容易く相手に接近できる環境を作るためにイベント場にクッキーなどの軽いおやつや飲み物を用意した。

イベントではマッチングの結果を発表して、グループで自己紹介をしてから、日本語と英語での話す時間を決めて、フリーディスカッションを進めた。

イベントが終わるころには、今回のプロジェクトの反省を踏まえ次のプロジェクトでもっといい結果を出すために、イベントに参加した学生からイベントの満足度とさらに改善が必要なところ、また連絡先などのフィードバックをもらった。

参加者の感想



イベント写真



レッツ言語のスタッフがゲームをリード



UCSDアーチェリー一部の学生と慶應大学の学生



UCSDの学生と二人の東京大学の学生たち



スタッフと東京大学からの学生たちのグループショット

使った資料の写真 ポスター



SNS



ニーズ調査

レッツ言語!

こんにちは～
JAPN135B (Japanese for Professional Purposes) のレッツ言語チームです！
留学生とローカル学生が一緒に楽しく交流し、語学力をアップさせることがこのプロジェクトの目的です。
「レッツ言語」といふイベントに参加して新しい友達を作り、多文化や多言語を学びましょう。

もしこのイベントに興味があれば以下のアンケートにお答えください。
アンケートの結果を基に、レッツ言語スタッフパートナー(欲しい人は3人グループ)のマッチングをします。
マッチングの結果はイベント中にお伝えしますので、お楽しみに！

イベントの開催
2月20日(水曜日)
午後5時30分～7時00分まで
イベント会場: Gardner Room (next to Robinson Auditorium)
なにか質問があれば、連絡ください。
sjamaask@ucsd.edu

アンケートのご記入をお待ちしております！！

Hello-
We are the "Let's Gengo" Team from JAPN135 - Japanese for Professional Purposes course!

The purpose of the "Let's Gengo" project is to bring together Exchange/International Students and Local American Students for a fun-filled cultural and language exchange. Let's learn about each other's cultures and languages and make new friends!

If you are interested, please fill out the following survey.
Once you fill out the survey, our team will create groups of 2 or 3 based on your mutual interests.
Matched groups will be revealed at our "Let's Gengo" event, so look forward to that!

Event Information
Date & Time: Wednesday, February 20th from 5:30 PM to 7 PM.
Location: Gardner Room (next to Robinson Auditorium)

If you have any questions, please feel free to contact us at sjamaask@ucsd.edu.
We look forward to your responses!

お名前 Name *

Short answer text

私は... I am... *

日本からの留学生 // a study abroad student from Japan

今UCSDで日本語を勉強している学生 // a student studying Japanese at UCSD

日本に留学したい学生 // a student who would like to study abroad in Japan

Other...

どんな人とペアになりたいですか。 Who would you like to be paired with? *

日本からの留学生 // an international student from Japan

今UCSDで日本語を勉強している学生 // a local student at UCSD

Other...

日本語レベルは... My Japanese language level is... *

ビギナー-Beginner

インターミディエート-Intermediate

アドバンス-Advanced

ネイティブ Native Speaker

英語レベルは... My English language level is... *

ビギナー-Beginner

インターミディエート-Intermediate

アドバンス-Advanced

ネイティブ Native Speaker

どうしてレッツ言語に参加したいですか。 Why are you interested in participating in Let's Gengo? *

新しい友達を作りたい // I want to make new friends-

英語/日本語のラングージョーナルパートナーがほしい // I want a language partner for ...

アメリカ/日本文化をもっと理解したい // I want to learn more about American/J...

学部や授業の勉強・学校の情報が欲しい // I want to know more about classes/teach...

Other...

どんなことに興味がありますか。趣味や興味のある分野を詳しく教えてください。 What are your hobbies? Please include as much detail as you can.

Long answer text

ペアやグループでの活動がありますが時間通りに参加できますか。 Will you be able to arrive on time to meet your partner and participate in the group activities? *

はい Yes

いいえ No

Other...

専攻は何ですか。 What is your major? *

Short answer text

連絡先としてメールを書いてください。良ければ、電話番号も書いてください。 Please provide an email address where we can contact you. If you wish, you may also provide your phone number.

Short answer text

質問やリクエストなどがあれば書いてください。 If you have any questions or requests, please let us know below!

Long answer text

フィードバックフォーム

Let's Gengo フィードバック Feedback Survey

今回のイベントに参加してくれてありがとうございます！
 事務局、私達は本当に「レッツ言語」イベントを運営しています。
 もっとよいイベントを作るために、今回のイベントの意見と感想をお聞かせください。
 ありがとうございます！！

Thank you for coming to our Let's Gengo trial event today!
 Next quarter, we are hosting our official Let's Gengo event
 to help for us to give an even better event, please give us some feedback! Thank you!

私は、I am... *

日本からの留学生 / a study abroad student from Japan

今UCSDで日本語を勉強している学生 / a student studying Japanese at UCSD

日本に留学したい学生 / a student who would like to study abroad in Japan

Other...

あなたは、レッツ言語を何から見聞きして知りましたか。How did you hear *
 about Let's Gengo?

SNS

知り合い / 友人 Acquaintances, friends

ボスター / Poster

Other...

どうしてレッツ言語に参加しましたか。Why were you interested in participating *
 in Let's Gengo?

新しい友達を作りたい / I wanted to make new friends...

英語 / 日本語のランゲージパートナーが欲しい / I wanted a language partner...

アメリカ / 日本文化をもっと理解したかった / I wanted to learn more about Amer...

留学や授業の相談、学校の情報が欲しい / I wanted to know more about class...

Other...

レッツ言語について、総合的にどのくらい満足していますか。Overall, how
 satisfied do you feel with Let's Gengo?

不満 Dissatisfied	1	2	3	4	5	満足 Satisfied
満足 Satisfied	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

レッツ言語に対して、上の質問と関連した理由をお書きください。Please tell *
 us your reason for you answer to the questions above.

Long answer text

以下の点に対して、どのくらい満足していますか。それぞれお聞かせください *
 We are still in the process of determining the following aspects of our first event.

不満 Dissat.	やや満足 S.	どちらとも、やや満足 S.	満足 Satisfied.
高橋や So...	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
スタッフの...	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
イベントの...	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ペアマッチ...	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

レッツ言語は春学期に正式なイベントを行います。日本人留学生・UCSD *
 ネイティブ学生に優先的にイベントになるために、レッツ言語は予約が必要で
 ます。We will have our Let's Gengo official event in spring quarter. In order to become a
 helpful room for Japanese international students and UCSD local students, who should
 Let's Gengo event include?

留学 / 海外経験についてのディスカッション / 海外ディスカッション Panel...

UCSD / 日本語についての情報セミナー / Information seminar about UCSD or stu...

アイスブレイキングゲーム / More ice breaking games

社会 / 国際問題についてのグループディスカッション / Group discussions about...

留学 / UCSDについてのグループディスカッション / Group discussions about study...

Other...

ご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。If you have any
 other comments, please write them here.

Long answer text

今後、レッツ言語からお知らせをお送りしてもよろしいでしょうか。Would *
 you like to be contacted about Let's Gengo?

はい Yes

いいえ No

もしよろしければ、お名前とメールアドレスをお書きください。If yes, please *
 write your name and email.

Long answer text

感想



最初は、私たちは大きなグループだから少し不安だったけど、イベントを企画している間にとっても仲良くなれました。そして、良いコミュニケーションができて、イベントは成功したと思います。たくさんの留学生やUCSDローカル学生が来てくれ、全員がとても仲良く話していて、非常に良いフィードバックがもらいました。本当にありがたいです。(ドリーン・スー)

私の日本語スキルは十分ではないので、プロジェクトの前にとっても心配しました。でも、グループメンバーは私をサポートしてくれて無事にプロジェクトを終えることができました。「レッツ言語」にたくさんの留学生に来てもらったので安心しました。私もイベントで留学生と英語で会話をして、留学生が英語の言葉が分からない時に、私は日本語で説明できたのでよかったです。将来的には、その留学生達と英語と日本語を練習していくつもりです。私も友達ができたので、とても嬉しかったです。(クリステン・ベンドルフ)



私自身がアメリカで勉強をしている韓国人留学生なので、このプロジェクトの趣旨に個人的にとっても共感ができました。日本からきて、アメリカの文化や英語で苦労している人は意外に多いかもしれません。そんな人たちを助ける一方、日本の文化や日本語に関心を持っているローカルの学生たちにも興味深いただろうと思いました。実際に、天気があまり良くなかったのに予想以上の参加者が来たと、皆さんの反応も非常によかったです。やはりこのプロジェクトは意味があったなと改めて感じました。(趙暁輝)

今学期の参加者は主に3週間の短期留学としてアメリカに来た学生だったので、来学期にはUCSDにいない可能性が高いです。それでも、アンケートのフィードバックから分かったことは、参加者にとって友達を作る機会と言語を練習する機会はとてもニーズが高かったことです。このプロジェクトのおかげで、私も沢山の日本人大学生と話す機会が出来ました。来学期、UCSDの留学生とまたこのプロジェクトが出来れば、きっと成功すると思います。(ヴィエット・デュオング)



おわりに

クラスの様子



日本語でプロジェクトを企画することはこの授業の第一のタスクである。この授業の一つの特徴とは既習の文法や語彙を使って日本語でコンテンツを学ぶことである。このクラスでは、職場に応用できる日本語や社会的なスキルも学べる。

秋学期に、私達は課題先進国の日本がリードしている社会問題をいくつか選んで、グループで研究した。選んだ課題は留学生のサポートや日本の労働環境など日本社会が現在も抱えている問題だった。調査して分かったことを春学期にサンディエゴで応用しコミュニティー貢献活動をするために、グループでそれぞれのプロジェクトを企画した。

冬学期の初めに、秋学期のトピックを厳選し三つの大きなグループになった。三つのグループは留学生のサポート、日本の労働環境、子供の貧困である。約六週間の準備活動をして、それぞれのイベント／活動を行なった。春学期にはさらにそれらを発展させて、より本格的でコミュニティーに役立つような価値の高いイベントを実施する予定である。